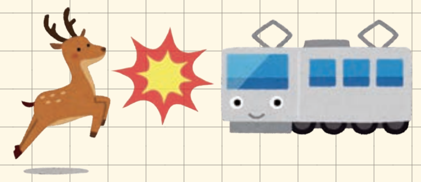
オオワシや猛禽類に迫る危機

⚠鉛中毒

猟師の鉛弾に当たったシカを食べた猛禽類は鉛毒で病気になります。鉛弾を使わないように規制が進んでいますが、今でも鉛中毒が発生しています。

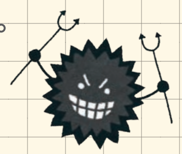
⚠列車事故

列車と衝突したシカを食べに集まった猛禽類が列車にひかれてしまいます。線路の上でシカを食べさせないように工夫をしないと、事故はなくなりません。



⚠鳥インフルエンザ

鳥の病気である鳥インフルエンザはとても怖い病気で、かかった猛禽類は数日で亡くなってしまいます。鳥インフルエンザは分からないことも多いので、予防する方法や、治す方法など研究が進められています。



円山動物園の取り組み「オオワシ・プログラム」

円山動物園では、数を減らしつつあるオオワシが絶滅してしまう前に、最終手段を備えておくため、動物園で生まれたオオワシを野生に返す技術の開発に取り組んでいます。もし、野生で絶滅してしまっても、野生に返す技術があれば、再び野生のオオワシの個体数が回復するかもしれません。

今後は、動物園で生まれたオオワシが野生で生きていけるように訓練をした後に、発信機をつけて北海道内で放してどのように動くのかを調べる予定です。

開園時間
3月1日～10月31日…午前9時30分～午後4時30分
11月1日～2月末日 …午前9時30分～午後4時

休園日
毎月…第2、第4水曜日（祝日の場合は翌日）
※8月は3日、24日
4月・11月…第2水曜日を含むその週の月～金曜日
12月…29～31日

料金
大人年間パスポート/2,000円　団体（30名以上）/720円
大人/800円　高校生/400円　小人（中学生以下）/無料
駐車料金　普通車/1回700円

飼育動物数
（2023年10月末時点）

哺乳類	55種	262点
鳥　類	34種	128点
爬虫類	43種	271点
両生類	13種	94点
総　計	145種	755点

札幌市円山動物園公式HP
https://www.city.sapporo.jp/zoo/
札幌市円山動物園 TEL011-621-1426

動物取扱業に関する表示
・氏名:札幌市円山動物園 園長 柴田 千賀子
・事業所の名称:札幌市円山動物園
・事業所の所在地:札幌市中央区宮ヶ丘3番地1
・動物取扱業の種別（登録番号）:展示（札保動セ登録第437号）、販売（札保動セ登録第1081号）、保管（札保動セ登録第1082号）、貸出（札保動セ登録第1083号）、訓練（札保動セ登録第1084号）
・登録年月日:平成19年5月21日（展示）、平成24年5月21日（販売、保管、貸出、訓練）
・有効期限の末日:令和9年5月20日（展示、販売、保管、貸出、訓練）
・動物取扱責任者:柴田 千賀子

SAPP‿RO

Sapporo City Wi-Fi SAPP‿RO

さっぽろ市
02-J03-22-1063
R5-2-854

編集・発行:札幌市円山動物園 令和5年（2023年）12月8日発行 〒064-0959札幌市中央区宮ヶ丘3番地1 TEL 011-621-1426 FAX 011-621-1428 https://www.city.sapporo.jp/zoo/

さっぽろ円山動物園だより

Sapporo Maruyama Zoo

2023 Vol. 183 冬号

北海道の動物シリーズ 3 オオワシ

オオワシとは？

オオワシは、冬になると日本にやってくるとても大きな鳥です。
北海道では、道東で多く観察することができます。
主な食べ物はサケなどの魚で、海の近くでよく見られるので「海ワシ」とも呼ばれています。

目

幼鳥の時は茶色い色をしており、
成鳥になると黄色に変化する。
視力は非常によく、人間の8倍以上といわれており、
遠くからでも獲物を見つけることができる。

嘴

かぎ状のくちばしで、
肉を引きちぎって食べる。
歯はないので、食べたものは丸のみ。

翼

翼の前部分が白いことが特徴。
飛ぶときはゆっくりと羽ばたき、
時々風に乗って羽ばたかずに飛ぶ。
（滑翔といいます）。

爪

するどく、とがっているので
突き刺して獲物を逃げられないようにしたり、
引き裂いたりすることができる。

全長

オス　88cmほど

メス　102cmほど

翼を広げた大きさ　2m〜2.5m

「猛禽類」ってなに？

猛禽類とは、生態系の頂点に位置し、獲物を捕らえるために進化した鳥の仲間です。
鋭い爪と鉤型に曲がった嘴を持ち、遠くまで見える目と力の強い丈夫な脚を持っています。
タカとフクロウの仲間に分けられ、タカの仲間は主に昼に行動し、フクロウの仲間は主に夜に行動します。

北海道でみられる猛禽類

北海道では、20種類以上の野生の猛禽類を観察することができます。
主な猛禽類を写真付きで紹介します。

オジロワシ

海岸近くに生息。冬には札幌市内でも観察できる。
体の大きさはオオワシと同じぐらいで、尾羽だけが白く他は茶色っぽいところが見分けるコツ。

トビ

北海道の様々な場所に生息。
恵庭の近くで大量に飛んでいる姿が観察できる。
天気の良い日は翼を広げて空をゆっくり回りながら飛んでいる。
ピーヒョロロロという鳴き声が特徴的。

シマフクロウ

日本では北海道にのみ生息している。
非常に大きなフクロウの仲間。
森が減って生息数が少なくなってしまったが、保護活動により少しずつ生息数が回復している。